

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 平和

コード番号 6412 URL <http://www.heiwanet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 石橋 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長

(氏名) 太田 裕

TEL 03-3839-0701

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,391	△67.8	△3,050	—	△712	—	△226	—
21年3月期第1四半期	10,519	—	△1,587	—	1,608	—	1,932	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△2.29	—
21年3月期第1四半期	13.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	138,849	86,745	62.4	877.53
21年3月期	140,470	88,251	62.8	892.86

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 86,707百万円 21年3月期 88,222百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		25.00	—	25.00	50.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	28,520	29.9	280	—	4,750	—	4,570	—	46.25
通期	81,110	63.2	8,310	—	17,210	186.8	15,050	779.2	152.31

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	99,809,060株	21年3月期	99,809,060株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	1,000,042株	21年3月期	1,000,042株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	98,809,018株	21年3月期第1四半期	140,510,223株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により異なる結果となることがあります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成21年4月1日から平成21年6月30日）におけるわが国の経済は、復調の兆しを見せつつも、雇用情勢の悪化や欧米景気の低迷が続いている影響等により、いまだ先行きが不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く遊技機業界においては、平成16年7月に施行された遊技機規則改正に伴うパチンコホール及びユーザーの減少を受けて、依然として厳しい状況が続いております。

そのような市場環境を受けて、パチンコホールにおいては、低貸玉営業の推進等により、また、各遊技機メーカーにおいては、多様な出玉性能及び著名な著作権を使用した遊技機を積極的に開発及び供給することにより、従来のユーザーはもとより、スリープユーザー及び新規ユーザー等の拡大に取り組んでおります。

このような経営環境の下、当社グループは、パチンコ機事業においては「シティーハンター（遊パチ）」を発売し、当事業における販売台数実績は7千台、売上高は2,150百万円となりました。また、パチスロ機事業においては、ゴールドオリンピックブランド「エースをねらえ！」を発売し、当事業における販売台数実績は4千台、売上高は1,030百万円となりました。

その結果、当第1四半期における当社グループの業績は、売上高3,391百万円、営業損失3,050百万円、経常損失712百万円となり、四半期純損失は226百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度に比べ1,620百万円減少し、138,849百万円となりました。負債は、投入機種の部材購入・量産のタイミング等の相違により支払手形及び買掛金が1,789百万円増加する一方、負ののれんの償却による減少2,150百万円等により、前連結会計年度に比べ113百万円減少し、52,104百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末よりその他有価証券評価差額金が1,181百万円増加する一方、剰余金の配当による減少2,470百万円等により前連結会計年度に比べ1,506百万円減少し、86,745百万円となりました。その結果、自己資本比率は62.4%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

イ. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

ロ. 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

ハ. 退職給付費用の算定方法

退職給付費用については、連結会計年度に係る退職給付費用の額を期間按分して算定しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,170	38,911
受取手形及び売掛金	3,212	10,671
有価証券	17,994	4,383
商品及び製品	3,562	212
原材料及び貯蔵品	11,708	11,304
その他	11,018	10,559
貸倒引当金	△4	△9
流動資産合計	73,662	76,034
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,390	17,394
その他(純額)	14,166	13,692
有形固定資産合計	31,557	31,086
無形固定資産		
145	145	163
投資その他の資産		
投資有価証券	28,943	28,474
その他	5,079	5,258
貸倒引当金	△538	△546
投資その他の資産合計	33,484	33,186
固定資産合計	65,187	64,435
資産合計	138,849	140,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,357	7,567
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	494	513
未払法人税等	53	196
引当金	145	293
その他	2,671	1,936
流動負債合計	12,823	10,507
固定負債		
長期借入金	7,971	8,085
退職給付引当金	1,674	1,732
その他の引当金	843	948
負ののれん	27,957	30,107
その他	834	836
固定負債合計	39,281	41,711
負債合計	52,104	52,218

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,755	16,755
資本剰余金	53,063	53,063
利益剰余金	17,196	19,892
自己株式	△944	△944
株主資本合計	86,070	88,766
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	637	△544
評価・換算差額等合計	637	△544
新株予約権	37	29
純資産合計	86,745	88,251
負債純資産合計	138,849	140,470

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	10,519	3,391
売上原価	7,361	1,608
売上総利益	3,158	1,783
販売費及び一般管理費	4,745	4,833
営業損失(△)	△1,587	△3,050
営業外収益		
受取利息	245	144
受取配当金	19	36
負ののれん償却額	2,150	2,150
その他	896	114
営業外収益合計	3,312	2,446
営業外費用		
支払利息	14	30
有価証券償還損	—	21
投資事業組合運用損	39	20
減価償却費	44	31
その他	18	3
営業外費用合計	116	107
経常利益又は経常損失(△)	1,608	△712
特別利益		
前期損益修正益	108	—
固定資産売却益	3	1
貸倒引当金戻入額	85	12
特別利益合計	197	13
特別損失		
固定資産除却損	4	6
賃貸借契約解約損	2	—
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,799	△705
法人税等	△133	△479
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,932	△226

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	パチンコ機 (百万円)	パチスロ機 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	8,150	2,088	281	10,519	—	10,519
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	49	49	(49)	—
計	8,150	2,088	330	10,569	(49)	10,519
営業利益又は営業損失(△)	△342	△309	97	△554	(1,033)	△1,587

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	パチンコ機 (百万円)	パチスロ機 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	2,150	1,030	211	3,391	—	3,391
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,150	1,030	211	3,391	—	3,391
営業利益又は営業損失(△)	△1,792	△565	69	△2,287	(763)	△3,050

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、販売品目によって区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) パチンコ機……………パチンコ機、パチンコ機ゲーヂ盤及び工業所有権使用料収入
- (2) パチスロ機……………パチスロ機
- (3) その他……………補給機器、情報配信サービス等

[所在地別セグメント情報]

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

海外売上高がないため該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。